

平成26年度

# 田原市のまちづくり

2月27日(木)に開会した田原市議会第1回定例会の冒頭、鈴木克幸田原市長は、平成26年度の市政運営を明らかにする施政方針の演説を行いました。また、同定例会では、平成26年度予算案も原案どおり可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

## 《施政方針の要旨》

国内の経済情勢は、デフレ不況からの早期脱却と経済再生を図る国の積極的な政策の効果もあつて、個人消費や生産が増加し、企業収益も改善が見えるなど、我が国の景気は、穏やかに回復しております。

本市においても、将来に向けた課題解決のため本年度予算を「**将来を見据え、地域の活力につなげる積極型予算**」として編成し、これまで以上に積極的でスピーディな市政運営をしてまいります。

昨年5月に愛知県から**南海トラフ巨大地震**の被害予測が発表され、本市は最大で死者約1400人、家屋の全壊・消失約1万棟と想定されました。

これまで本市では、**防災対策**に特に力を入れ、すべての保育園、小中学校の耐震化の完了や、多くの自治体との**災害時相互応援協定の締結**などに取り組んでまいりましたが、今後より一層防災対策に力を注ぎ、**被害者ゼロ**を目指してまいります。

また、**地域コミュニティ連合会**が組織され4年目を迎え、各校区の自主的なまちづくり活動が活発となっておりますので、今後も防災などさまざまな分野においてさらなる**参加と協働**を進めてまいります。

東三河8市町村で構成する**東三河広域協議会**では、地域が将来にわたって持続的に発展していくために、**市町村の枠を越えた新たな広域連**

携体制が必要との共通認識から「**広域連合**」の設立に向けた検討を行っております。本市としても、各市町村にとって住民サービスの向上につながるよう**広域連合の設立**に向け、取り組んでまいります。

改定した総合計画では、まちづくりの理念として「**みんなが幸福を実現できるまち**」を掲げています。昨年度、市民の皆さんと議論を交わしながら、それぞれの役割分担や幸せを測るための指標づくりを行い「**田原幸せづくりプラン**」を策定しました。このプランに基づき、市民の皆さんが幸せの実現を目指すことができる環境を整え、下支えをしてまいります。

また、市民の皆さんの「**幸せと健康**」を結びつけるため、本市は、昨年7月にWHO（世界保健機関）の提唱する健康都市連合に加盟しました。今後は、市民・団体・地域との協働によりいきいきと生活できる健康都市の実現を目指してまいります。

本市は昨年度、**市制施行10周年**を迎え、**改定版第一次田原市総合計画**をスタートさせました。社会を取り巻くさまざまな状況が目まぐるしく変わる中で、自らの力で課題解決を図り、「**自立した地域づくり**」を行っていく必要があります。

合併後、市民の皆さんと一体となって積み上げてきたこれまでの実績を基に、**10年後のさらなる飛躍**に向け、決意をあらたに臨んでまいります。

● 施政方針の全文は市ホームページで（市長のページ）

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>